

(著者名)	(書名)	(出版社)	(出版年月)
土木学会	第44回 年次学術講演会講演概要集 第1部	土木学会	平成元年10月
土木学会	第44回 年次学術講演会講演概要集 第2部	土木学会	平成元年10月
土木学会	第44回 年次学術講演会講演概要集 第3部	土木学会	平成元年10月
土木学会	第44回 年次学術講演会講演概要集 第4部	土木学会	平成元年10月
土木学会	第44回 年次学術講演会講演概要集 第5部	土木学会	平成元年10月
土木学会	第44回 年次学術講演会講演概要集 第6部	土木学会	平成元年10月
土木学会 土木情報システム委員会	第14回 土木情報システムシンポジウム講演集	土木情報システム委員会	1989年10月
日本学術会議 材料工学研究連絡委員会	第33回 材料研究連合講演会 前刷集	材料工学研究連絡委員会	平成元年9月
日本雪氷学会	日本雪氷学会秋季大会講演予稿集 平成元年度	日本雪氷学会	平成元年9月

当研究所図書室利用者のため、入手図書の紹介については、本紙1982年8月No.351に定期技術雑誌として紹介したのを初めに、その後隔月ごとに紹介を重ね、前回(1990年6月 No.445)までで48回を数えております。

(扱 企画調整課情報管理係)

サ □ ソ

ビスマルクの選択

最近、どっちが良いか、という奇妙なアソビが流行っている。愛はあるが貧乏な暮らしと愛はないが贅沢な暮らし、という具合だ。思わず、ウツと考え込んでしまう。だいたいどちらも選びようの無いものばかりだ。考えてみりゃ、愛と金、義理と人情、顔と体、頭と心。そのある無しを組合わせて、どっちがいいかって聞かれたってなー。両方満足できればいいんだが、世の中そんなに甘くないか。やっぱり、ウツと考えちゃうか。

ドイツの鉄血宰相ビスマルク。独仏戦争に勝利して1871年ドイツ統一を達成。この偉人は、頭の善し悪し、ヤル気のある無しを組合わせて、部下を4種類に分類した。すなわち、①「頭も良いし、ヤル気も十分」、②「頭は良いが、ヤル気は無し」、③「頭は悪いが、ヤル気十分」、④「頭も悪く、ヤル気もない」。さて、オノレの右腕とすべき参謀として、彼はどのタイプを選んだか。

4番目のタイプは、誰がどう考えたってとんでもないヤツだ。3番目は、ドジばかりで手取り足取りでこれまた大変。やっぱり1番目だな、とだれもが思う。が、ナント偉人ビスマルクは2番目を選択したのである。1番目がどうしてダメなのかというと、あまり優秀なヤツを部下に持つと、とかく上司の考えにイチャモンをつけ、ついには上司を蹴落としてしまう恐れがある。それよりは、命令に忠実に行動する部下が望ましい、と考えたワケだ。

最近の若い連中ときたら、頭は良いがまるでヤル気がない。などとよく耳にする。ビスマルクなら泣いて喜ぶところだ。だからと言って、若い連中ヨ、喜ぶのはまだ早い。あなたの上司がビスマルクのように偉大なら、ノンビリ構えていても良い。だが、世の中、ビスマルクばかり居るわけでもない。公務員試験にパスして頭は良いハズなのだから、後はヤル気の問題だ。上司を蹴落とすくらいの意気込みを出してはどうかネ。返す刀で今度は上司へ。頭が良くてヤル気のあるヤツを欲しがってることは、自分に自信が無いってことではありませんか。あるいは早いところくをしようって魂胆ではないですか。

さて、あなたの部下や上司はどのタイプ? そしてあなた自身は?

(記 能登 繁幸)